

報告事項キ

令和3年度山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）第1回オンライン座談会の概要について

令和3年度山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）第1回オンライン座談会の概要について、別紙のとおり報告します。

令和3年10月20日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和3年度山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）  
第1回オンライン座談会の概要について

令和3年10月20日  
鳥取県教育センター

1 概要・目的

令和元年度から、島根大学教師教育研究センターと鳥取県教育センターが連携し山陰教師サポート連携協議会（S×T協議会）を立ち上げ、人材育成と教師支援を目的に島根大学出身初任者の学校訪問等を行っている。

昨年度実施した島根大学新卒採用者を対象としたオンライン座談会を、今年度から対象をすべての初任者に拡大し、島根大学教育学部の協力を得て、同期採用者のつながりの強化や、大学教員による初任者に対する指導支援を行うこととした。さらに、本取組の成果を採用前後の人材育成、教師支援に生かし、汎用性のある取組にする。

- 2 参加者 令和3年度初任者研修及び新規採用教員研修対象者のうち希望する者（17名参加）  
島根大学教育学部附属教師教育研究センター長、講師等（4名参加）  
鳥取県教育センター教育企画研修課若手育成担当（2名参加）

- 3 日時 令和3年9月17日（金）午後3時30分から4時30分まで

- 4 場所 鳥取県教育センター等（Web会議システムを使用）

5 内容

（1）オリエンテーション

- ・オンライン座談会の概要について
- ・参加者自己紹介

（2）意見交換

- ・事前調査によるテーマをもとに初任者同士の意見交換
- ・島根大学職員からの助言と質疑応答

6 座談会を終えて初任者の感想（一部抜粋）

（1）オンライン座談会に参加して

- ・他校種の先生と話す機会は滅多にないので、交流できて嬉しかった。和気あいあいと初任者同士話ができリラックスできた。
- ・話をする中で、誰しも同様に悩みながら仕事をされていることが分かったので、悩みすぎずに頑張っていきたいと思った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため集合での研修がなく、初任者同士の交流が少ないので今回このような場で交流ができて良かった。
- ・島根大学の先生方も積極的に話に入ってくださって、アドバイスをいただくことができて良かった。
- ・普段の研修は同じ校種の先生方ばかりで行っているのので、このように他校種の先生方と交

流できる機会は新鮮だった。

## (2) 次回のオンライン座談会への要望

- ・交流する時間をもっと長くしてほしい。

## 7 取組の成果と課題

4月からの研修が、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い非集合型遠隔研修となっている中で、研修以外の交流の場に参加し、話をする機会を得たことは参加者にとって有意義な時間となった。

また、普段は同校種での研修がほとんどのため、他校種の初任者が交流できたことや、島根大学の教員からのアドバイスが参加者に好評であった。

今回の開催時期が校種によっては参加しにくい面があった。また、時間設定も授業や課外活動の指導時間と重なり参加ができなかった者もあった。来年度に向けて、夏季休業中の開催なども検討していきたい。

## 8 今後の予定

- ・第2回 12月 開催予定
- ・第3回 3月 開催予定